

■外部評価（試行）の実施結果について

1 実施概要

| | | | |
|------------------|--|-------|---------------|
| 日 時 | 平成25年2月22日（金） 午前9時～正午 | | |
| 場 所 | 清須市役所本庁舎 2階 小会議室 | | |
| 評 価 者 | 福田清彦氏（清須市行政改革推進委員会会長） 牧野香三氏（清須市行政改革推進委員会委員・名古屋経済大学教授） | | |
| 評 価 対 象 施策・事業 | 企 画 部 | 企画政策課 | コミュニティバス事業 |
| | 総 務 部 | 防災行政課 | 放置自転車等対策事業 |
| | 市民環境部 | 保険年金課 | 子ども医療費支給事業 |
| | 健康福祉部 | 健康推進課 | がん検診事業 |
| | 建 設 部 | 地域開発課 | 名鉄新清洲駅北周辺整備事業 |
| | 教 育 部 | 学校教育課 | 放課後子ども教室運営事業 |

2 評価方法

事業担当課の説明⇒外部評価者からの質疑⇒外部評価者コメント【1事業 30分】
（資料2 2(4)「外部評価の実施方法」の②「評価方法」と同様）

3 評価の視点

各担当課で実施した内部評価の結果について、「市民感覚と乖離していないか」、「現状を肯定する甘い評価になっていないか」、「事業の内容等を分かりやすく説明しているか」等の観点で評価を実施。

※ 併せて、外部評価者に対しての説明及び評価シート以外の補足説明資料は分かりやすいか、質疑に対して的確な回答ができたかについても評価を実施。

| 評価の視点 | | 内 容 |
|--------|-----|--|
| 目 的 | | ・何を目的にした施策・事業であるかが具体的に記載されているか。 |
| 事業概要 | | ・施策・事業の実施内容が具体的に記載されており、その実施内容と目的に関連性があるか。 |
| 評 価 | 必要性 | ・市民のニーズはある（高い）のか。 ・市の関与の程度（割合）は適切なのか。 ・市が事業を休止又は廃止した場合に、市民に与える影響はどれ程あるのか。 |
| | 有効性 | ・施策・事業の目的の達成度をはかる指標（目標）となっているか。 ・指標（目標）は適切に設定されているか。 ・事業実施における成果は上がっているといえるか。 ・施策・事業を実施した結果得られた実績の要因の分析などから、残されている課題等を認識・把握しているか。 |
| | 効率性 | ・活動内容の見直し等により更なるコスト削減が見込める部分はないのか。現在の活動内容の見直しを図ることで更なる成果の向上は見込めないか。 |
| 今後の方向性 | | ・施策・事業の評価（必要性・有効性・効率性）を踏まえて、施策・事業の今後の方向性を適切に捉えているか。（事業規模・取組内容は適切か） |

4 外部評価者からの主な意見

| 評価の視点 | 内 容 | |
|--------|--|---|
| 目 的 | ・事業目的と事業内容が一致していない。 ・同種の事業との事業目的の違いが明確ではない。 | |
| 事業概要 | ・記載された事業内容が、施策・事業目的の一部分のみであるため、施策・事業全体の内容を記述すべき。 | |
| 評 価 | 必要性 | ・必要性を法令に記載してあるからとするのは疑問。市民ニーズなどの観点から説明すべき。 ・市民ニーズが増加した理由を的確に記述すべき。 ・市関与の妥当性で県が行うべきとしているにも関わらず、なぜ市が実施しているのか明確に記述すべき。 |
| | 有効性 | ・施策・事業の目的に沿った指標の設定を検討する必要がある。 ・目標値が低い。 ・目標値について、年度による大幅な増減がある場合、実績値と大幅に異なる場合などは、その理由を説明すべき。 ・目標と目標達成に向けた課題の記述が対応していない。 ・課題について、他部局との連携した取組を記述すべき。 |
| | 効率性 | ・効率化のために実施した改善内容が適切に記述されていない。 |
| 今後の方向性 | ・一部の関係者に対する取組が記載されているが、多くの税金の投入が考えられることから、一般市民に対しても情報提供し、理解を求めていく必要がある。 ・取組内容の考え方は適切であるが、その内容が適切に記述されていない。 ・取組内容が抽象的で理解できない。具体的な内容を記述すべき。 | |
| その他 | ・評価シートの記載及び当日の説明について、特に技術系の施策・事業の場合など、専門的な用語が使用されている。わかりやすい用語・表現とすべき。 ・事業の対象者が増加しているのに、事業費が減少した理由を説明すべき。 ・市民満足度調査での適切な指摘については、その対応策などを示していくべき。 ・評価シートの質問をするにあたり、予め事業内容知っておく必要があるが、資料を確認する期間をある程度確保する必要がある。 ・一人が6つの施策・事業を評価するのは、作業的にも負担がかかる。資料を事前に勉強する時間も考えると、3つ程度が適当だと思う。 ・行政改革推進委員会などで外部評価を実施するにあたっては、外部評価の目的（事業自体の必要性は問わないこと、あくまで評価シートの記載内容についての評価を行うもの）をしっかりと理解してもらう必要がある。 ・1件あたりの時間が短い。もう少し時間を延ばすべき。 | |